

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分
7	情報システム最適化事業			新規 拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	2	2	1	政策局 IT統括課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	30006	事業名	情報システム最適化事業 (アプローチ6/情報システムの最適)
根拠法令等				
予算要求事業の概要				
事務事業の内容	<p>情報システム予算編成時及び情報システム調達時に見積書等の精査を行い、IT経費の適正化を図るとともに、システムの調達時にあたって、業務主管課への技術的な助言・指導を行います。</p> <p>また、調達の公平性・透明性を高めるため、情報システムに係る一連の業務プロセスを標準化した最適化ガイドラインの改定及び普及活動を行います。</p>			
目的・目標	<p><目的> 情報システムの企画、調達、開発、運用といった一連の業務プロセスを標準化し、調達の公平性・透明性を高めていくことで、効率的な情報システムの構築・運用を図るとともに、予算編成時及び調達時の見積額等を精査し、IT経費の適正化を推進します。</p> <p><目標(平成24年度末)> 1 IT経費の適正化 2 市民サービス優先の最適化の実施</p>			
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 コスト優先の最適化の継続実施 2 情報システム最適化方針の策定 3 情報システム最適化ガイドラインの改定及び普及活動</p> <p><課題> 進歩が著しいIT技術に対して、情報部門における知識向上や業務所管課との調整スキル、見積書精査等の業務スキルの習得・継承について整理する必要があります。 市民サービス向上のために情報システムを連携することはもとより、業務についても密接に連携させる必要があります。</p>			
今後のスケジュール	平成21年度に策定予定の「情報システム最適化方針」をもとに、電子市役所の構築を見据え、その中で業務の見直しや効率化の視点も含めながら、更なる情報システム経費の適正化と安心安全なシステムの構築を進め、市民サービス優先の最適化へとシフトしていきます。			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	25,840	<積算内訳> 1 情報システム経費の最適化 25,840 [主な内容] (1)情報統括監補佐監報酬 (2)情報統括監支援業務
	財源内訳 ① 一般財源	25,840	
平成22年度	当初予算要求	24,465	<積算内訳> 1 情報システム経費の最適化 24,465 [主な内容] (1)情報統括監補佐監報酬 (2)情報統括監支援業務
	財源内訳 ① 一般財源	24,465	<要求理由> 情報システムに係る一連の業務プロセスを標準化し、調達の公平性・透明性を高め、効率的な情報システムの構築・運用を図るとともに、IT経費の適正化を推進するための経費を要求するものです。
	財政局長査定	22,840	<査定内容> 1 情報システム経費の最適化 22,840 [主な内容] (1)情報統括監補佐監報酬 (2)情報統括監支援業務
財源内訳 ① 一般財源	22,840	<査定理由> 情報統括監支援業務委託については、前年度の実績を参考にして精査しました。	
市長査定	22,840	<査定内容> 同上	
財源内訳 ① 一般財源	22,840	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	